

中学生の職場体験学習（Vol. 20 令和7年7月）

南信農業試験場では、南信州地域の中学生を対象に職場体験学習を実施しています。本年は、飯田市立鼎中学校から3名、高森町立高森中学校から4名の生徒を受け入れました。

本学習では、研究職員と一緒に、病害虫を対象とした試験を行うためのポット苗づくりや南信州特産の「市田柿」の摘果、土壌肥料の効果を調査するための土壌分析、新たな品種を育成するための遺伝子診断などの作業を体験して頂きました。生徒たちは研究職員の説明に熱心に耳を傾け、猛暑が厳しいなか、様々な作業に汗を流していました。

この取り組みは、地元にある南信農業試験場でどのような試験研究が行われているのかを知って頂くとともに、実社会での作業体験を通じて働くことの意義や責任を学んでもらうことを目的としています。一方、研究職員にとっては、農業の知識が少ない生徒に対して、難しい専門用語を使わずにわかりやすく説明するか、などを考える新たな「気づき」をもたらす貴重な機会になっています。

本職場体験を通じて、未来を担う子どもたちが食と農業に関心を持って頂く機会になればと願っています。



ナシのポット苗づくり



土壌pHやEC（電気伝導度）の測定